

3月15日（金）くふうハヤテベンチャーズの開幕戦に5番DHで出場した倉本選手は、対戦投手のオリックス宮城大弥投手からチーム初ヒットを放った。チームは1－9で敗れたが、試合後の声を聞いてきました。

——チーム初ヒット、おめでとうございます。歴史に名前をのこしましたね

倉本 ありがとうございます。狙っていました（笑）。前の1番から4番までが凡退していたので、チーム初ヒットのチャンスが来るんじゃないかと思っていました。

——66年ぶりの新規参入球団の開幕戦。球場には平日の昼間にも関わらず多くの観客が詰めかけました。思いは強かったのではないですか？

倉本 開幕戦の雰囲気は、やっぱりしびれましたね。今年またこういう舞台に立てて野球をできること。僕の場合は、もしかしたら、もっと前に野球人生が終わっていたかもしれないなかつたですからね。僕だけの考えだったら辞めていたかもしれないけど、いろんな人からの声をいただいて、もう一回前に進んでみようと思えたので、それがあって今日を迎えられたので、改めて感謝の気持ちが湧いてきました。

——（教育リーグ中に痛めた箇所的大事を取って）今日は5番DHでした。指名打者はやりにくかった？

倉本 いや、そんなことはないですね。どこであろうと同じです。

——しばらく試合には出ていませんでしたが、ケガの状態は問題ないですか？

倉本 だいぶ良くなってきて、あともう少しなんですけどね。ただ、こんな歴史的な開幕戦に出られる機会もそうないですからね。「どうしても出たい」と言って、出してもらったので。そこは監督さんに感謝です。

——ただ1回のオモテ、守備位置の呼び出しでいきなり指名打者が呼ばれて、挨拶に慌てて出てきましたね。

倉本 あれはびっくりしました（笑）。『あれ、俺なの？』って。守備の呼ばれる順番って、ライトからじゃありませんでしたっけ？ まぁそのへんのこともまだ慣れていないですからね。試合と共に勉強していければ。

——オリックスの先発は日本屈指の左腕投手である宮城大弥投手でした。

倉本 そうですね。宮城投手との対戦は実ははじめてなんです。どんな球を投げるんだろうと楽しみにしてましたけど、やっぱり一軍のトップレベルのピッチャーのボールでしたね。すごく楽しかったです。

——第1打席、初球から積極的に仕掛けて、センター前にはじき返しました。

倉本 はい。初球、あのボールしか狙っていなかったです。今日の投球を見てて、打つならまっすぐだなと。あれをファールにしないように準備しましたけど。いいピッチャーは球筋を見たいと思いますけど、初球から行くのが僕の持ち味ですからね。ボールを見ていくことよりも、まずはしっかり打ち返すことに集中しました。

——2打席目ではゆるいボールにも対応できていましたが、結果は見逃し三振。最後の外角ギリギリのボールも素晴らしかったですね。

倉本 そうですね。きわどかったですけど、ああいうボールもどういう風に打てばいいのかを考えること、その前のボールで勝負しないと、やっぱり宮城投手のようないいピッチャーは追い込まれると、どんどん苦しくなりますからね。その前に打てるボールを前に飛ばせなかったことがすべてだと思います。

——チームは1-9で負けてしまいました。

倉本 負けたことは悔しいですが、今日まずはスタートできたことがチームとしては大事であって、正直勝ちたかったですけど、静岡のホームで試合ができたことの一步。そして次は勝つことの一步と、チーム全体で一步一步前進していければと思います。

——最後に後援会のみなさまにメッセージをお願いします

倉本 無事今日を迎えられてこの場に立てたこと。本当に。チームとしても、個人的にも歴史的な一日になりました。まだまだ1試合だけなので、残り130試合以上、しっかり前進して力をつけて、一步一步進んで行けたらと思います。あと、以前お伝えしたみなさんが応援に来た時におすすめしたい清水の美味しい店もいくつか見つけたので、また次回お伝えしますね。明日からまた頑張ります！